

パレット

2021. 4. 16. No. 1 文責 木下 浩治

最上級生として～

七海さん、雪馨さん、望結さん、進級おめでとうございます。最上級生として、学習だけでなく、多くの面で後輩たちの見本となります。良い面も悪い面も先輩の真似をします。学校の顔として、良き伝統を築いてほしいです。支えてくれている人たちを大切に、何事も一生懸命に取り組んでください。そして、自分自身の進路実現を目指す最終年度です。後悔のないように一日一時間を大切に過ごしてください。不安や心配なことはすぐに相談してください。ともに一年を乗り切りましょう！



進路実現に向けて必要なこと

やって後悔することはないが、やらないで後悔することはある

心構え① 自分で決める

9年間の義務教育は「生徒は教育を受ける権利があり、保護者はその環境を整える義務」があります。義務が終わった先は、自分でどうするかを決め、自分の力で実行していかななくてはなりません。高校選択はその第一歩となります。先生方や保護者の方がみなさんの進路を決めるわけではありません。当然、みなさんの幸せを考え、情報を知らせたり、アドバイスしたりしますが、最終決定は自分の責任でします。

心構え② 将来を見据える

「近いから」とか、成績だけを見て「入れそうだから」という理由で高校受験をすると失敗する例があります。自分の事をよく知り、将来どの方向へ進みたいかを考えることが最も重要です。単純な理由で選択することなく、先を見通しての選択をしてください。また、特色ある学校が増えています。自分で良く調べ、実際に見学会へ参加し、保護者とよく相談の上、進路選択をしてください。

心構え③ 丈夫な心と体

まずは健康管理をしっかりしてください。健康な体でないと気持ちがのらず、行動が鈍ります。その結果、不安や焦りで良い結果は出ません。万が一、受験日に欠席する事態になると不合格となります。体調管理も実力のうちです。

そして、自分に負けない強い心を鍛えることが大切です。「今日は疲れたから明日にしよう」と先延ばしするのではなく、今日やると決めたら、やってしまう。更に「まだやってみよう」という一歩、更なる一歩が、思った以上の成功につながります。目標・計画・行動・修正の流れを根気よく続けて、「やれることはやり通した」という自信を持って、本番を迎えられるようにしましょう。

保護者様へ

この度、進路指導を担当させていただくことになりました。佐藤先生をはじめ、学校全体で生徒たちが自分で自分の道を選択していくよう活動していきます。しかしながら、生徒の一番の相談相手は保護者の皆様だと思います。進路便りを使い、話し合いのきっかけにいただければと思います。ぜひ、今後も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。